

仁徳天皇陵横の大仙公園上空100mより古墳群全体を一望する計画

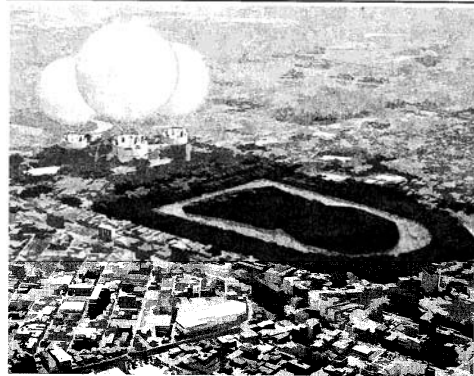
上空100mの気球より古墳群を見渡そうとの実に魅力的な提案である。しかも「来春」とその期日が明記されると、その日が来るのが心待ちである。

しかしながら、私にはもう一つの記憶がある。大仙公園に立つ高さ65mの堺市平和塔には以前は登れ、その高みより仁徳天皇陵を見下ろすことができたのである。だが、この「見下ろす」という行為があまりにも恐れ多いとなり、この塔へ登ることは禁止された。

そんな経緯を知ってか知らずか、さらに高い100mより、天皇陵を見下ろそうとの計画である。気球計画を実現する勇気があるならば、この堺市平和塔の公開も再度考えてもよいのではないだろうか。海外からの観光客にもきっと気に入ってもらえる。



日本経済新聞 2019.7.9



気球で古墳巡り「来春に」

堺市長、世界遺産登録受け

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産に20、30人乗れるヘリウムガスを使った気球をパイジャンから帰国した堺市の水藤英機市長らが、8日、関西国際空港で記者会見した。「百舌鳥（もず）・古市古墳群」の世界文化遺産への登録決定を受け、2020年4月ごろに気球を用いた観光計画を実施したい考えを明らかにした。仁徳天皇陵古墳（大山古墳）近くにある大仙公園から上空100m程度まで気球を上げ、空から古墳全体を見渡せるようにするという写真はイ

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産に20、30人乗れるヘリウムガスを使った気球をパイジャンから帰国した堺市の水藤英機市長らが、8日、関西国際空港で記者会見した。「百舌鳥（もず）・古市古墳群」の世界文化遺産への登録決定を受け、2020年4月ごろに気球を用いた観光計画を実施したい考えを明らかにした。仁徳天皇陵古墳（大山古墳）近くにある大仙公園から上空100m程度まで気球を上げ、空から古墳全体を見渡せるようにするという写真はイ

堺市平和塔



総務省のホームページより

堺市平和塔

所在 大仙公園（JR 百舌鳥駅 徒歩 5 分）

連絡先 堺市 健康福祉局 生活福祉部 健康福祉総務課 建
立者 堺市

建立年 昭和 46 年 6 月

※H23.11 発行「平成 23 年度 全国の戦災の追悼施設・追悼
式」より（調査時期 H23 年度／情報提供元は、堺市）

※一般戦災死没者を含む

説明文

世界恒久の平和は、人類共通の願いです。

私たちは太平洋戦争の尊い犠牲において、平和希求を全国民的な合意といたしました。

そうして、戦後 25 年有余を経た現在焦土の中から立ちあがった日本の国は、産業経済の高度成長もめざましく躍進をつづけております。

わたくしたちの堺のまちは、このたくましい息吹の中で、今や阪神経済圏の一翼をになって国際的に雄飛する百万都市建設の理想にむかって、日進月歩の発展をつづけています。

それにつけても、私どもは今日の平和と繁栄のかげに多くの戦争犠牲者のあったことを忘れ去ることができません。

（中略）

今回堺市が、多年の市民の渴望にこたえて、大仙公園内の一角に聖地をえらんで、世界の永遠の平和を念望し、郷土の戦争犠牲者の霊名を念誦して、堺市平和塔の建設に着手せられました。

即ち、地上 60.5m に及ぶ市章をかたどった三角柱の立塔と直径 7m の円形の礼拝堂を主体として、周囲の環境と調和を保ち近代的な感覚を鉄筋コンクリート造りにもりあげて今年 6 月にその竣工を期せられています。

（以下略）

出典：堺市平和塔建設募金趣意書（昭和 46 年 4 月）

※一部抜粋

